

『創・養・守・攻』の防疫戦略

社会はボーダーレス、
それは畜産衛生も例外ではなく、
平常時からの国際防疫ネットワーク作り「創り、養う防疫」が必要です。
非常時に慌てないように準備と啓発が必要です。
当産業動物衛生学研究室は
南九州の畜産フィールドを活用した
産官学連携による産業動物防疫の研究テーマに取り組み、発信しています。
また、海外からの越境性家畜伝染病の侵入阻止のための
水際防疫および初動防疫による迅速な封じ込めの
「守りの防疫」の啓発・講習会に加えて、
口蹄疫等発生国への防疫技術伝達および防疫に関する海外技術協力と共に
国内への病原体の侵入リスクを軽減化させる
「攻めの防疫」に努めています。